勿来生活学校

o 参加者　一般メンバー……一般家庭の主婦100人
　　専門メンバー……生産者、学識経験者、行政、技術者、協会

o 開設場所　いわき市勿来支所、勿来地区公民館

o 開設期間　昭和41年5月～昭和42年2月

o 開設時間　1回　3時間　10回30時間

o 運　　営　参加者の代表で運営委員会を構成し、それによって運営する。

o 目　　的　日常生活の中から疑問をほり出し、消費生活の改善を図るとともに、賢い生活者として成長していきたい。

o テ ー マ　広告と買物・くすりと健康・インスタント食品・繊維と洗剤・美容と化粧品・暖房と燃料・お菓子と栄養・生活の設計その他

5 ま　と　め

本県における新生活運動もようやく基礎づくりができてきたと思われる。

村（町）づくり運動もわずかに5つの実践地区であるが、モデル地区を重点として、その活動も軌道に乗ってきた。今後は更に実践地区の拡充と、その周辺町村への運動の波及を図らねばならない。「明るい職場づくり運動」は、その推進事業場、および県の推進委員会を充実して趣旨の徹底を図り現在郡山では自主的活動のきざしがみられ、県としてはそれらの指導育成に努力している。国土美化運動は都市における美しい町づくり運動として、生活環境整備を目標に総合的な推進を図る。また、生活学校も昭和42年度は2～3校開設することを目途として、その準備をすすめ、協会へ要請を行なう。

いずれの部門においても未だ拠点活動の段階ではあるが、今後は重点的に内容の充実を図り、住民への直結と全県的運動への波及を考えている。